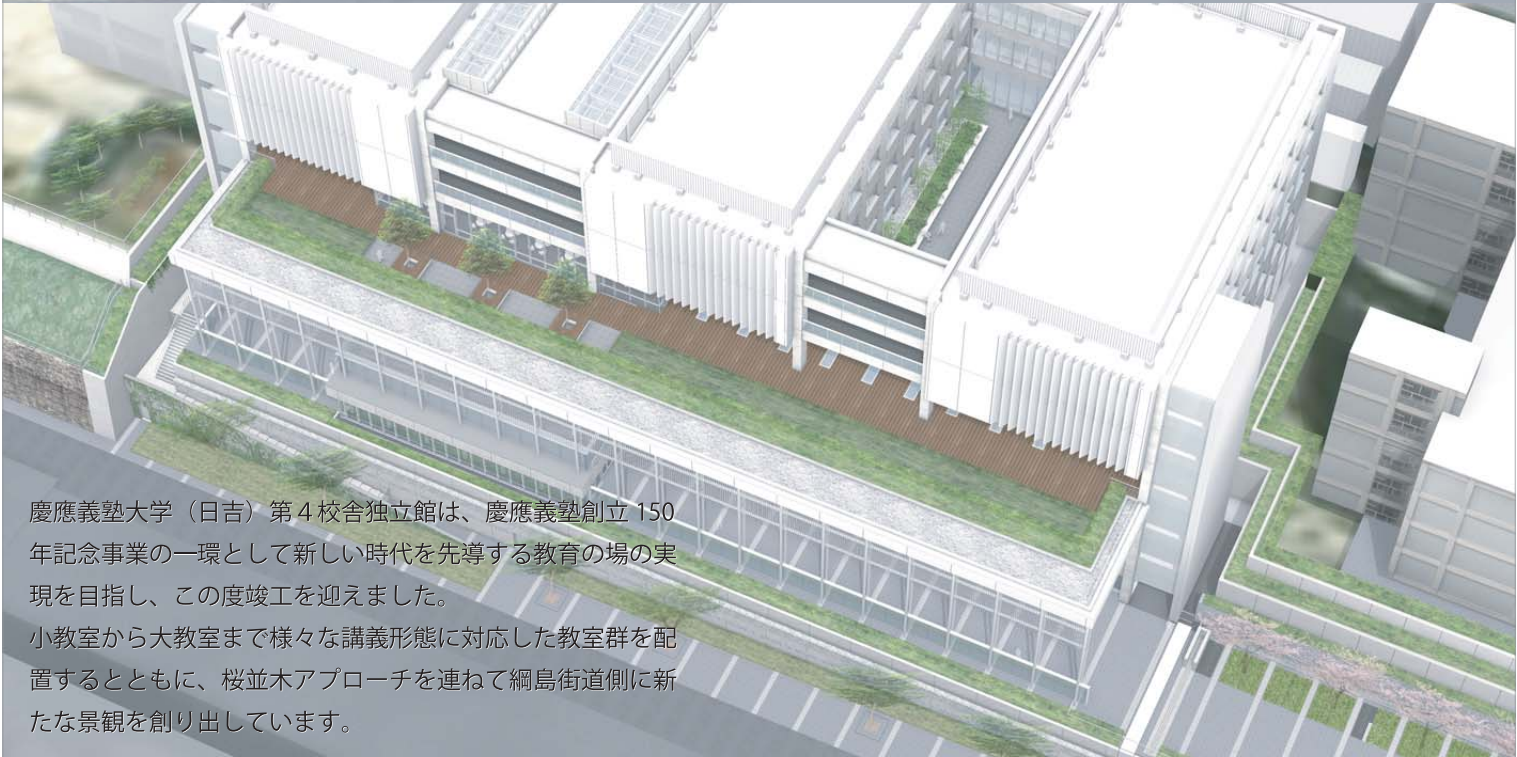


慶應義塾大学（日吉）第4校舎独立館



慶應義塾大学（日吉）第4校舎独立館は、慶應義塾創立150年記念事業の一環として新しい時代を先導する教育の場の実現を目指し、この度竣工を迎えました。
小教室から大教室まで様々な講義形態に対応した教室群を配置するとともに、桜並木アプローチを連ねて綱島街道側に新たな景観を創り出しています。

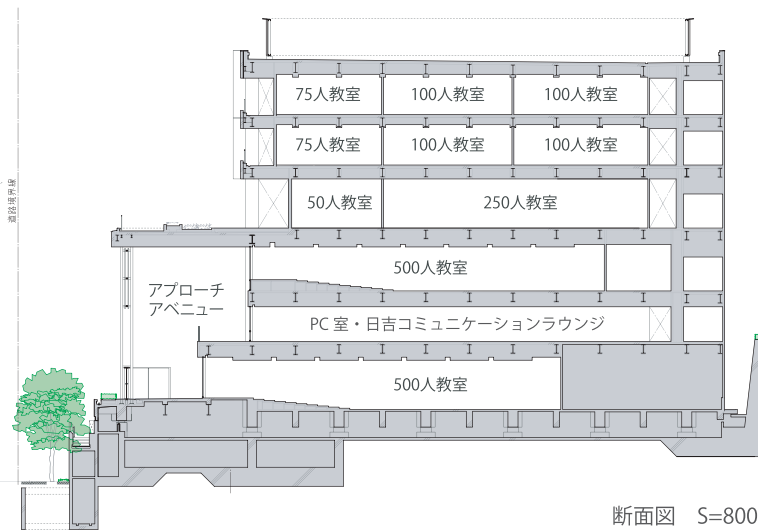
構造計画

建物内部は鉄骨鉄筋コンクリート造の壁柱と長辺方向の鉄骨梁による幅17.25mの無柱空間としています。柱を3.45m間隔で連続させることで柱厚を小さくし、教室空間の有効利用を可能としました。また、基礎免震構造（積層ゴム、滑り支承、オイルダンパー）の採用により高い耐震性能を確保した計画としています。

環境・設備計画

アプローチアベニューやアトリウム等の半屋外空間を効果的に配置した空間構成により、建物のエネルギー負荷の低減を図っています。

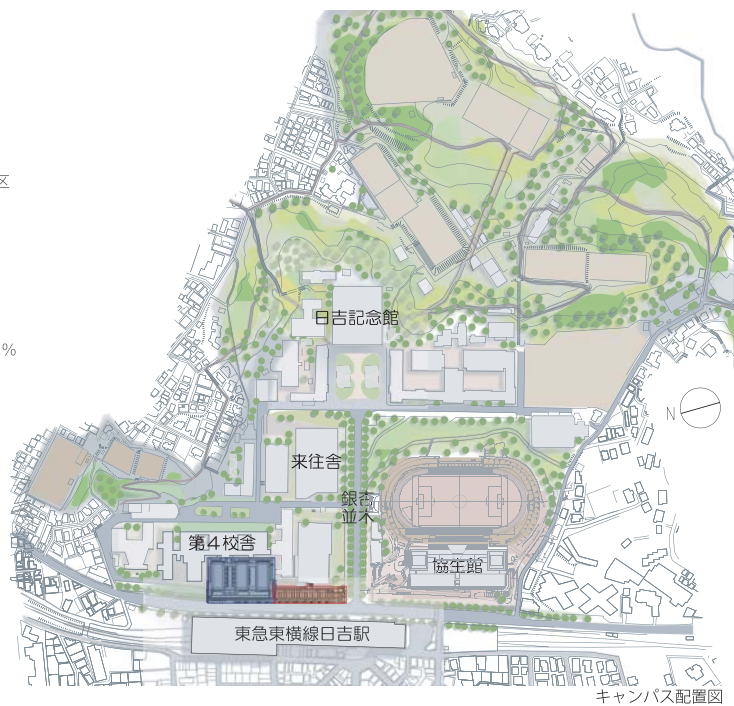
綱島街道からキャンパスへつながる沿道エリアに立体的に連なる緑化空間は、既存表土の再利用や解体建物のコンクリートガラの上材への転用等の環境配慮手法を通して生物環境の保全・創出や温熱環境の向上に資するとともにまちなみに豊かな景観を提供しています。



断面図 S=800

概要

建築主	学校法人 慶應義塾
計画地	神奈川県横浜市港区日吉4-1-1
敷地面積	352,357.33 m ² (106,588.09 坪)
地域地区	用途地域 1種中高層、準住居、1種低層、2種中高層 準防火地域、第4種風致地区、宅地造成規制区域、1,3,4種高度地区
主用途	建築基準法 学校(大学)
工事種別	増築
建築面積	今回部分 4,870.85 m ² (1,473.43 坪) 全体 58,384.27 m ² (17,661.24 坪) 建蔽率 16.57% ≤ 59.42%
延床面積	今回部分 18,399.87 m ² (5,565.96 坪) 全体 183,688.40 m ² (55,565.74 5 坪) 容積率 52.13% ≤ 150.83%
規模	地上4階 地下3階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造
高さ	建物高さ 30.896m / 軒高 28.336m / 最高高さ 34.986m
設計監理	鹿島建設株式会社
施工	鹿島建設株式会社(建築工事)、高砂熱学工業株式会社(空調設備工事) 株式会社城口研究所(衛生設備工事)、株式会社きんでん(電気設備工事)



時代を先導する教育の場

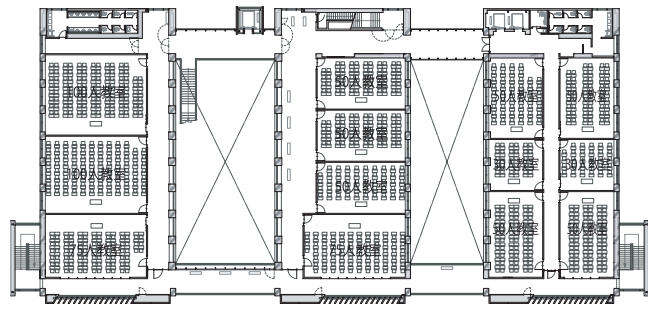
■教室階構成

収容人数の多い大教室をアクセスしやすい下層階に、その他の教室を街道の喧騒から距離を置いた上層階に配置しました。教室階はゆとりのある廊下と適切に配置された階段により、回遊性をもった利用しやすい平面計画となっています。

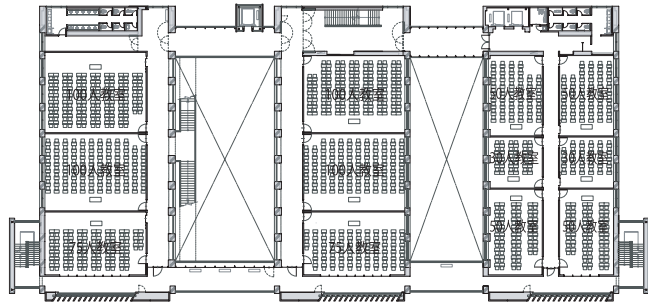
また、単位空間をブリッジにより接続していく構成は、将来的な北側への校舎の延伸計画にも対応しています。

■コミュニケーションガーデン／中庭

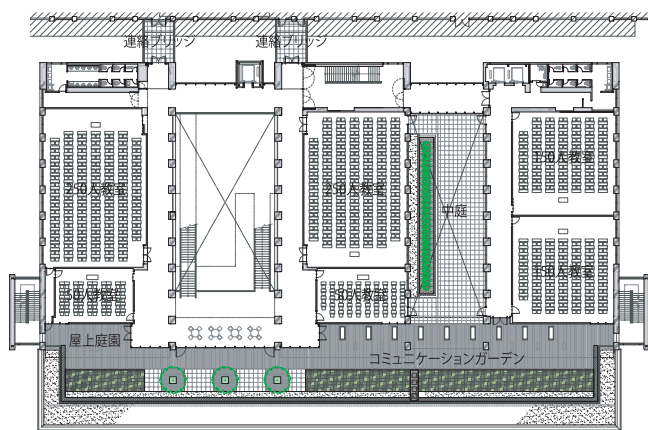
学生の集いやすい中間階に緑あふれる屋上庭園を計画しました。講義の合間の休憩やインフォーマルなコミュニケーションの場として利用される一方、教室階に光を導き、自然光があふれる明るい教室空間を創出します。コミュニケーションガーデンから西側遠方には天気の良い日に富士山を望めます。



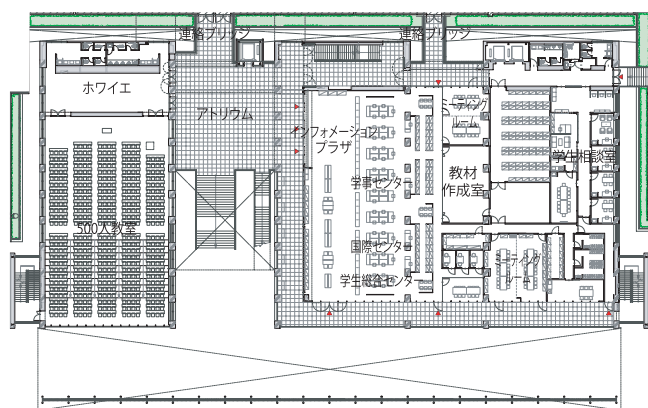
4階



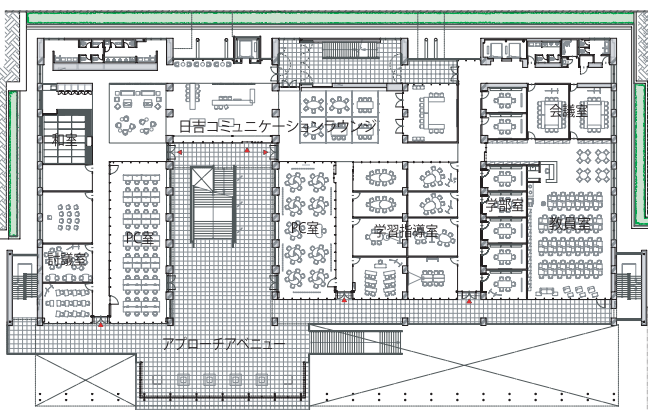
3階



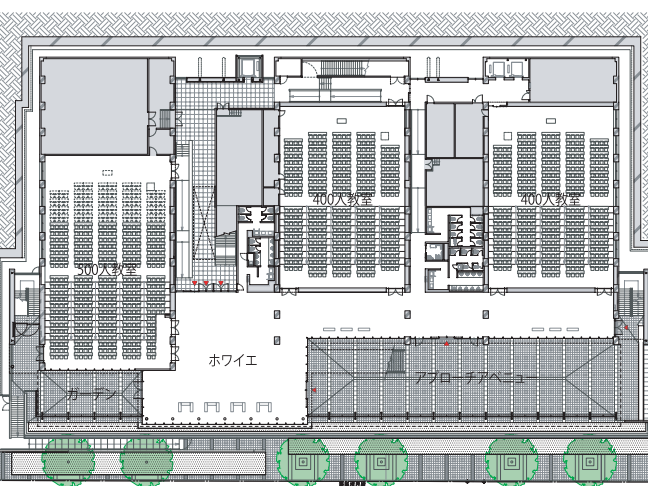
2階



1階



地下1階



ホワイエ

アプローチアベニュー



50人教室



500人教室



コミュニケーションガーデン



中庭

銀杏並木に続くキャンパス動線の創出

■学事センター／アトリウム

学生生活のターミナルである学事センター・学生総合センター・国際センターをキャンパスレベルとつながる1階に配置しています。アプローチアベニューからアトリウムを経由して既存の第4校舎へ至り、学生広場に抜けるルートは新しいキャンパス動線の要となります。

■アプローチアベニュー／学生活動支援スペース

網島街道に面する西側部分には、街からキャンパスへと動線を導くアプローチアベニューを計画しました。第4校舎独立館への新しい動脈を受け止め、活気ある学生生活の表現の場となる明るく開放的なスペースです。また、アプローチアベニューに面する地下1階には学生の自由な活動を支援する様々なスペースを配置しています。



アプローチアベニュー

新しい街の風景

■桜並木アプローチ

日吉キャンパス正門から網島街道に沿って北側に延びるアプローチを新設しました。桜と樺の並木が織りなす風景は、擁壁によって分断されていた街とキャンパスを連続させる新しい景観を創り出し、駅前の空間を彩ります。



桜並木アプローチ